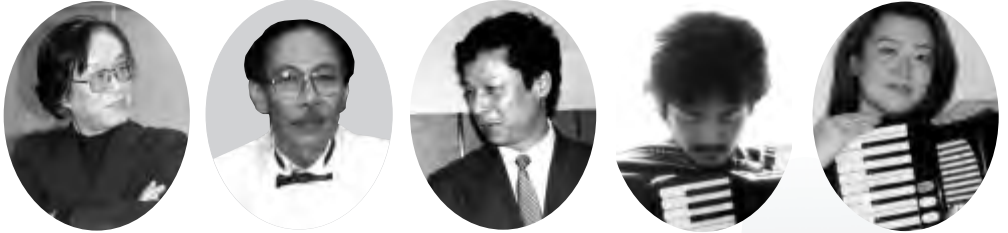


第10回北京国際アコーディオン芸術祭に JAAから5名参加！

アジアにおける重要な国際交流の第一歩

この夏、第10回北京国際アコーディオン芸術祭（コンクール）及びアコーディオンによる日中市民文化交流のために、JAAから松永勇次、川口裕志、虞錫安、森陽介、柴崎和圭の5名が訪中する。コンクール審査とあわせ、中国アコーディオン協会との交流が主な目的である。



▲（写真右から）松永勇次、川口裕志、虞錫安、森陽介、柴崎和圭

主なスケジュール

- 8月10日：「第10回北京国際アコーディオン芸術祭」開幕芸術祭に参加
- 8月11日～13日：コンクール審査（芸術家グループと少年グループの審査員／通訳／交流・視察）
- 8月14日：閉幕式
- 8月15日：音楽大学アコーディオン科、芸術文化センターなど教育機関の視察／楽器工場および楽器店視察／中国アコーディオン協会との今後の交流事業に関する会談／上海アコーディオン協会との交流 他
- 8月17日：帰国予定

北京★

中国アコーディオン協会との交流

日中アコーディオン協会の交流の歴史は2003年3月、当協会現理事長の中国派遣に始まる。中国アコーディオン協会の他、北京や上海のアコーディオン事情を視察。その際、中国アコーディオン協会より、以下の申し出があった。

- (1) 「北京国際アコーディオン芸術祭」への日本からの審査員派遣。
- (2) 子供たちの演奏者の日本派遣。

これを受けて、第9回JAA臨時総会（2004年1月）は視察を含む日中交流の促進について決議した。日中国際交流史上初めての日中アコーディオン協会間の交流を、アジアにおける重要な国際交流の第一歩として重視したものである。

この国際交流は、日本と中華人民共和国におけるアコーディオン演奏家・教育専門家、及び愛好者等の演奏等による芸術・文化の交流を通じて、両国における市民の友好・交流をすすめ、双方のアコーディオン界の音楽的・芸術的向上を目指しつつ、アジアの平和と発展に寄与することを目的として行われる。また、2005年8月開催の「第4回JAA国際アコーディオンコンクール」とも連携し、中国からのコンクール出場者、子供たちの演奏交流などを要請することをも意図しており、その成果が期待される。

中国アコーディオン協会とは

中国アコーディオン協会（会長：張自強）は1980年、アコーディオン愛好者協会として創立の後、1990年中国アコーディオン協会となる。中国のアコーディオン界においては全国規模の唯一の民間組織。中国政府文部省に認可され、アコーディオンの地方組織および学校、団体等の指導的な位置にある。

1993年より毎年、北京国際アコーディオン芸術祭（コンクール）を主催。その他、アコーディオン普及のためのコンサートやゼミ、国際交流に関する各種イベントを行う。北京国際アコーディオン芸術祭事務局である姜傑の文化芸術センター本部は600人以上の国内外の教師陣をもち、在校生徒数は10,000人以上。音楽やダンス、美術、英語、コンピュータの5項目の専門科目を持つ。中国中央音楽学院と連携し、ピアノやアコーディオン、バイオリンのグレード試験センターもある。